

# 急伸するクラウド型電子契約 ～利活用の実情と課題・今後の展望について～

SMBCクラウドサイン株式会社  
代表取締役社長 三嶋 英城  
2021年9月2日

# 今日のアジェンダ

1. 自己紹介
2. クラウド型電子契約の基本
3. クラウド型電子契約の利活用状況
4. 課題と今後の展望



# 今日のアジェンダ

1. 自己紹介
2. クラウド型電子契約の基本
3. クラウド型電子契約の利活用状況
4. 課題と今後の展望



# 自己紹介



氏名 三嶋 英城

年齢 39歳

略歴

**2005年 ニフティ（株）入社**

通信、Web/スマホアプリ、クラウド事業領域での  
商品企画・事業開発、CVC運営を経験

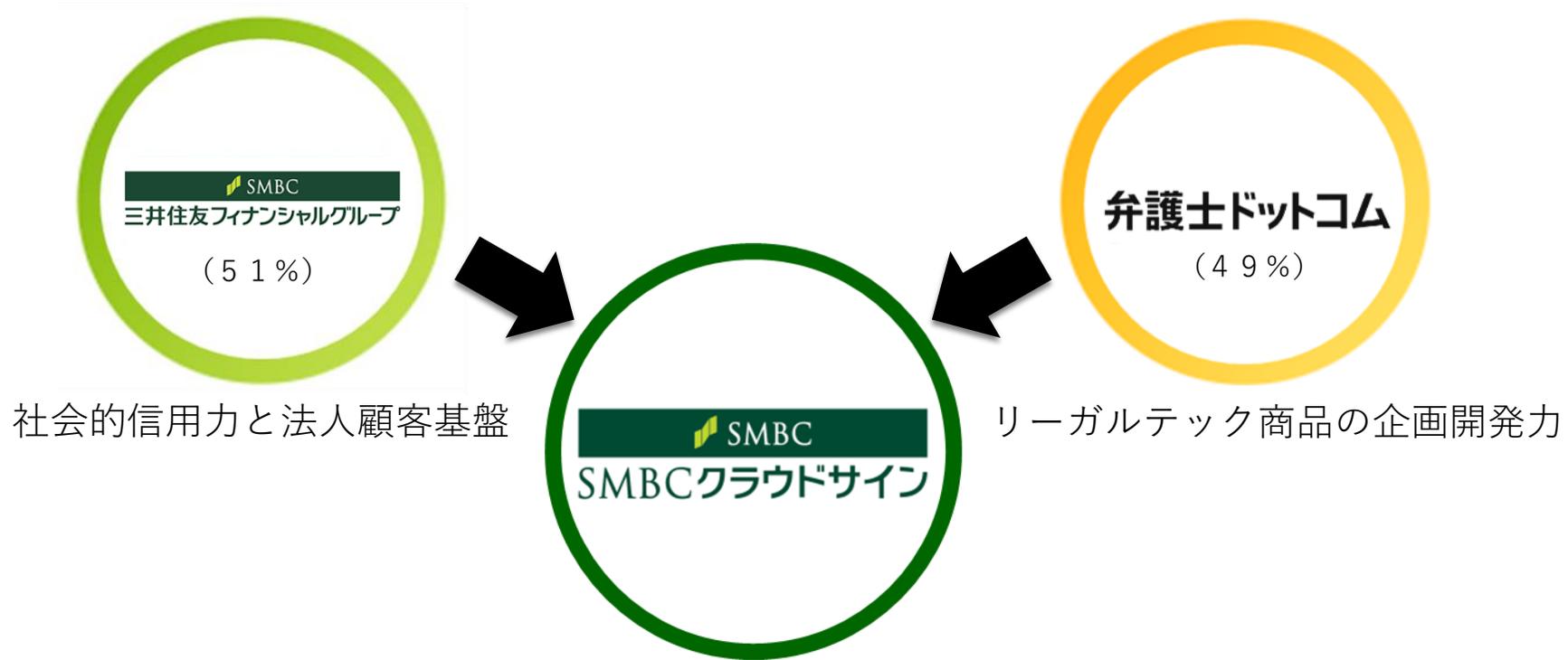
**2018年（株）三井住友銀行入社**

ITイノベーション推進部配属  
オープンイノベーション拠点「hoops link tokyo」の総括

**2019年 SMBCクラウドサイン（株）設立  
代表取締役社長へ就任**



# (株) SMBCクラウドサイン



## 事業ビジョン

契約プロセスを中心とした、日本のレガシーな風習・業務プロセスの変革



# 提供サービス



契約締結から契約書管理まで可能な  
クラウド型の電子契約サービス



# 今日のアジェンダ

1. 自己紹介
2. クラウド型電子契約の基本
3. クラウド型電子契約の利活用状況
4. 課題と今後の展望



# 利用イメージ

## 自社（送信者側）



### 1 書類をアップロード

ブラウザよりSMBCクラウドサインへログイン。  
書類 (PDF) をアップロードします。



### 2 承認者設定

承認者の「メールアドレス」「氏名」を設定し  
ます。承認者は複数設定可能です。



### 3 確認依頼メールを送信

送信内容を確認し「送信する」ボタンをクリック。  
指定した承認者へ確認依頼メールが送信されます。

## 相手方（受信者側）

相手方はユーザー登録不要（無料）



### 1 確認依頼メールを受信

確認依頼メールに記載されたリンクをクリックし  
ます。



### 2 書類確認・合意

書類内容を確認し「同意して確認完了」ボタンを  
クリックします。

※承認者1が同意すると、承認者2へ同じく確認依頼  
メールが送信される流れ。



### 3 合意締結完了メール受信

承認者全員が同意する事で合意締結完了となり、  
全員に締結完了メールが届きます。メールには締  
結後の書類 (PDF) が添付されます



# 電子署名とタイムスタンプ

【電子署名カブ】秘密保持契約書.pdf - Adobe Acrobat Reader DC (32-bit)  
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 署名(S) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

ホーム ツール 【電子署名カブ】... x

署名済みであり、すべての署名が有効です。 署名パネル

署名

すべてを検証

- バージョン 1: Bengo4.com, Inc. により署名済み
- バージョン 2: Bengo4.com, Inc. により署名済み
- バージョン 3: Bengo4.com, Inc. により署名済み
- バージョン 4: Bengo4.com, Inc. により署名済み

署名は有効です:  
信頼ソース取得元: Windows 信頼済み証明  
文書は、この署名が適用されたから変更さ  
署名者の ID は有効です  
署名時刻は署名者のコンピューターの時計  
署名は tTV 対応です

署名の詳細

理由: 関野 翔太(sekino@bengo4.com)によ  
証明書の詳細...

最終チェック日時: 2021.08.13 23:38:20 +09'00'  
フィールド: Signature4 ページ: 1

このバージョンを表示

- バージョン 5: Bengo4.com, Inc. により署名済み
- バージョン 6: Bengo4.com, Inc. により署名済み
- バージョン 7: Bengo4.com, Inc. により署名済み
- バージョン 8: Bengo4.com, Inc. により署名済み
- バージョン 9: Bengo4.com, Inc. により署名済み
- バージョン 10: Bengo4.com, Inc. により署名済み
- バージョン 11: Bengo4.com, Inc. により署名済み
- バージョン 12: Bengo4.com, Inc. により署名済み
- バージョン 13: Bengo4.com, Inc. により署名済み
- バージョン 14: SEIKO Timestamp Service. Accredite

## 秘密保持契約書

各当事者は、甲乙間において取引を行う又は取引を検討する目的（以下、「本件目的」という。）として、甲乙間において相互に開示された情報につき、次のとおり秘密保持契約（以下、「本契約」という。）を締結する。

甲	住所 : クラウド 送信太郎 会社名 / 氏名 : 株式会社デモ送信
乙	住所 : 港区11111-11111 会社名 / 氏名 : 株式会社クラウド ※法人の場合、会社名に加え、代表取締役等の肩書、氏名を記入して下さい。
契約締結日	2019/01/01



# メリット



## 契約締結のスピード化

印刷・製本・押印・郵送・スキャン（紙の書類のデータ化）など、従来の手間がかかるプロセスの全てがオンライン上で完結。わずか数分で契約が完了し、ビジネスのスピードが大きく加速します。



## コスト削減

印刷費、郵送費、保管費に加え、電子契約では印紙代も不要となり大きなコスト削減が可能。また、契約締結プロセスの効率化により間接的な人件費も削減されます。

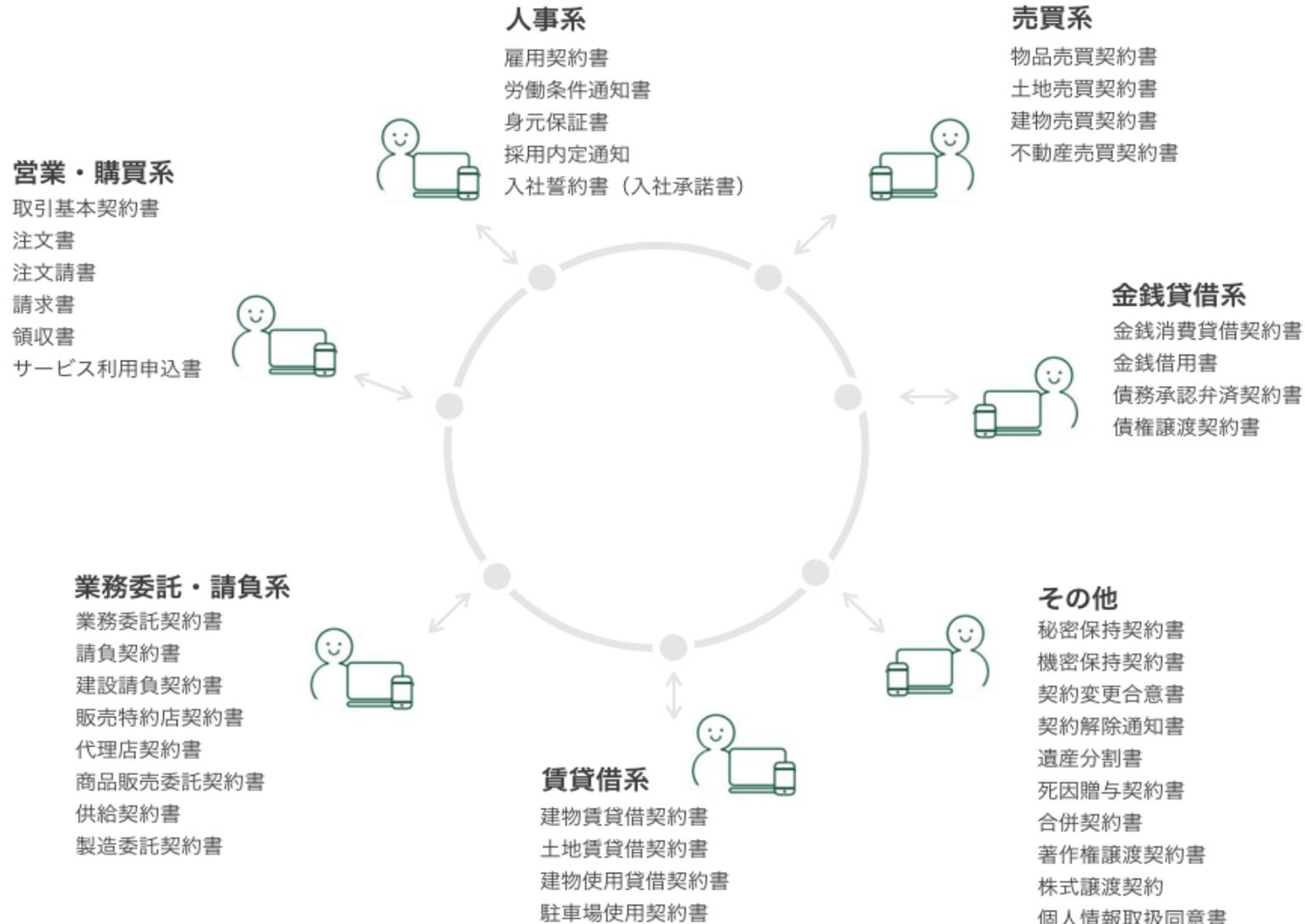


## 検索性の向上

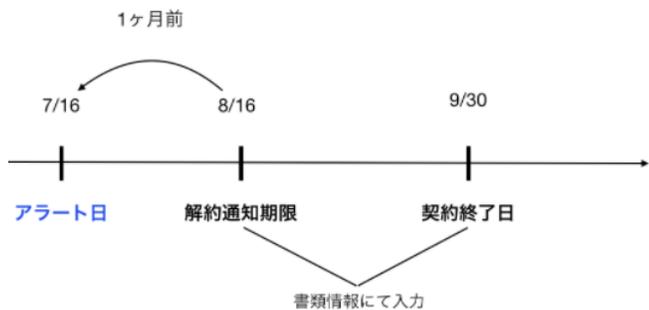
デジタルデータで契約書を管理する事で、契約締結後の検索・閲覧性が大きく向上します。原本確認のために、倉庫を探し回るようなシーンからも解放されます。



# 対象書類例



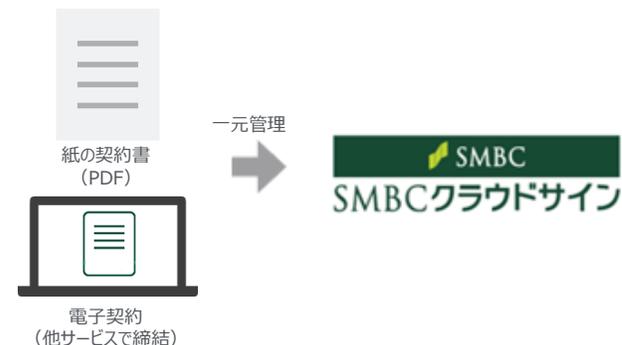
# 様々なオプション機能



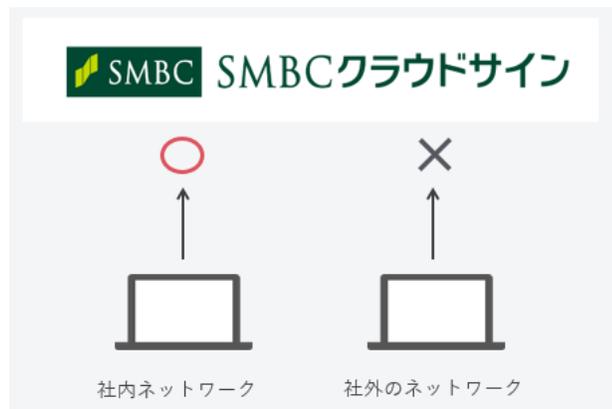
## 期限アラート



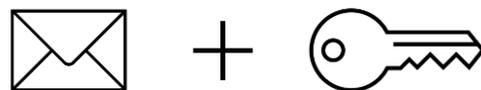
## 一括書類作成 & 送信



## 書類インポート



## IPアドレス制御



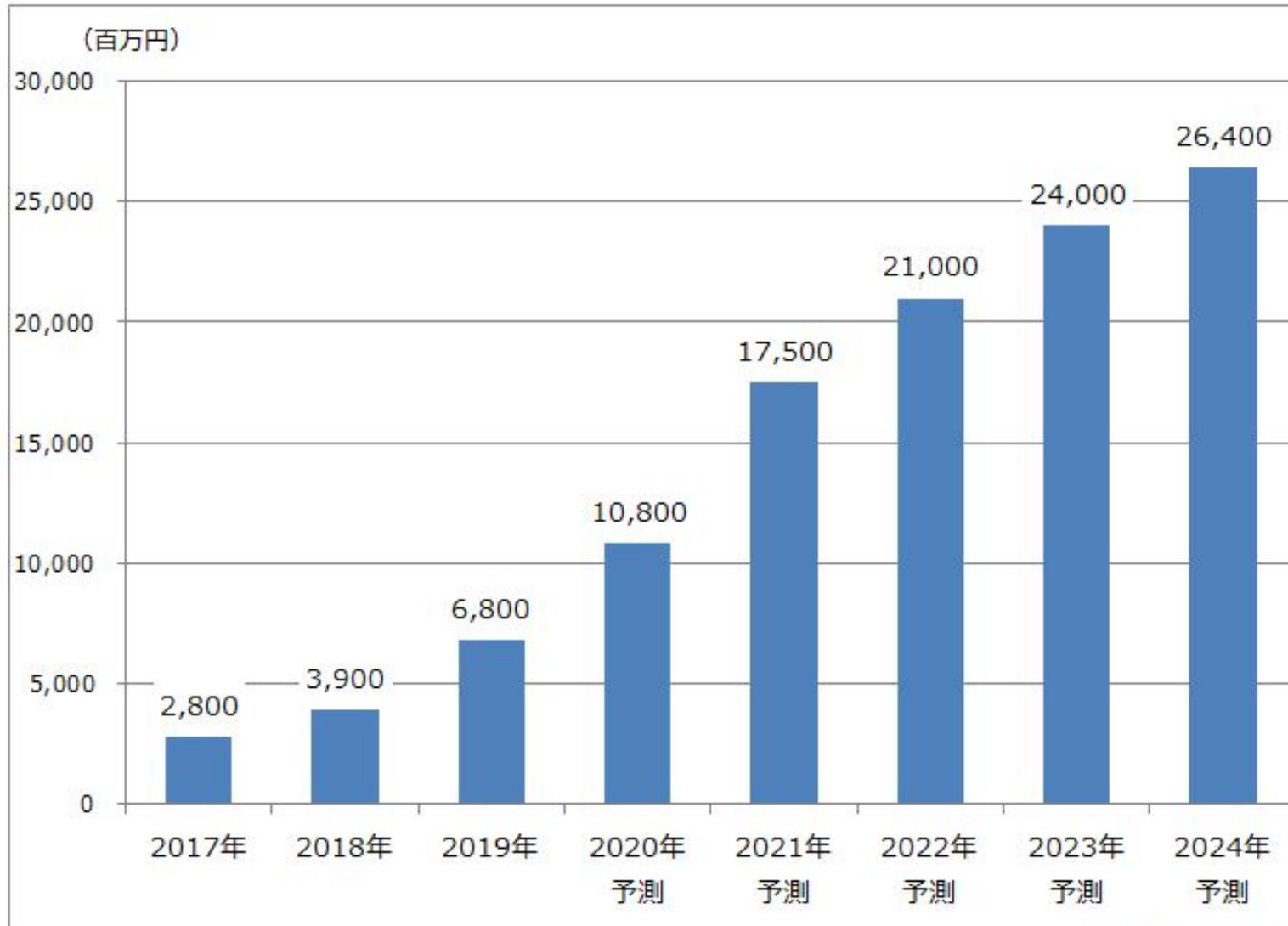
## アクセスコード



## 承認権限



# 電子契約市場の推移



出典：矢野経済研究所 ([https://www.yano.co.jp/press-release/show/press\\_id/2582](https://www.yano.co.jp/press-release/show/press_id/2582))



# 今日のアジェンダ

1. 自己紹介
2. クラウド型電子契約の基本
3. クラウド型電子契約の利活用状況
4. 課題と今後の展望



# クラウド型電子契約の浸透

2020年度の脱ハンコはどう進んだのか？



# クラウド型電子契約の浸透

大企業での導入・試行が一気に加速した。



# 大企業導入の背景

- **2020.5** **取締役会議事録**でのクラウド型電子契約利用が正式に認められる。
- **2020.6** **商業登記**のオンライン申請で、クラウド型電子契約にて承認された取締役会議事録や契約書面を添付書類とすることが可能に。
- **2020.7** 内閣府・法務省・経産省が、「**押印についてのQ&A**」を公表。**押印の効果が限定的**であることを明言。
- **2020.7** 総務省・法務省・経産省が、「利用者の指示に基づきサービス提供事業者自身の署名鍵により暗号化等を行う電子契約サービスに関するQ&A」(**電子署名法第2条**関係)を公表。
- **2020.9** 総務省・法務省・経産省が、「利用者の指示に基づきサービス提供事業者自身の署名鍵により暗号化等を行う電子契約サービスに関するQ&A」(**電子署名法第3条**関係)を公表。  
法解釈が明確化され、クラウド型電子契約が**電子署名法第3条に準拠する**ことを公式に表明。

国の強力な後押しで利用環境が整備された



# SMBCグループでの事例



SMBCグループ

## 【NEWS RELEASE】

2020年11月5日

各位

株式会社三井住友フィナンシャルグループ  
株式会社三井住友銀行  
SMBCクラウドサイン株式会社

### SMBCグループ15社でクラウド型電子契約を活用 ”脱ハンコ”のリーディングカンパニーへ

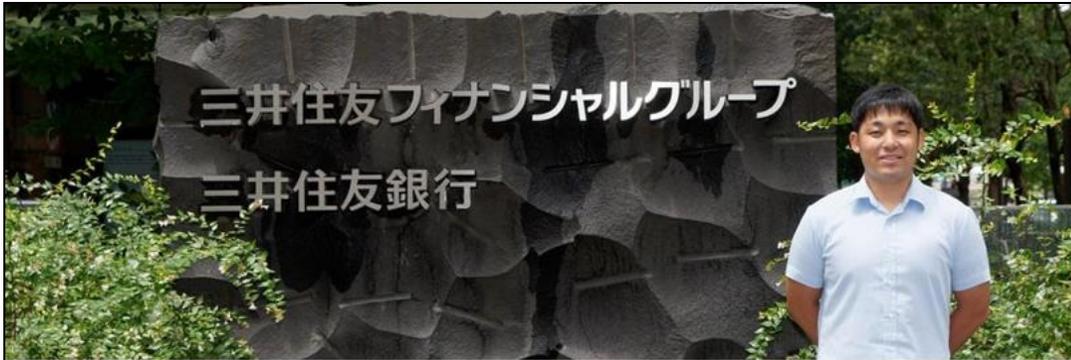
株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長グループ CEO：太田 純、以下、当社グループを総称して「SMBCグループ」）は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行を契機に急速に進む“脱ハンコ（契約行為のデジタル化）”について、子会社の SMBC クラウドサイン株式会社（代表取締役社長：三嶋 英城、以下「SMBCCS」）が提供する電子契約サービスを活用する事で、グループ一丸となって推進して参りました。現時点における主な成果は以下のとおりです。

主な成果：

- 現在、SMBCグループ15社で電子契約を活用。年度内に約20社まで拡大予定。
- 現時点での想定効果は、コスト削減「1.7億円/年」、事務効率化2.2万時間/年。導入企業の増加、用途拡大につき、更なる効果の上積みを見込む。
- 今後は、法人・個人のお客さま向け金融サービスでの活用を拡大し、お客様の利便性向上を図ると共に、日本の“脱ハンコ”を牽引するリーディングカンパニーを目指す。



# SMBCグループでの事例



## メガバンク本部「56部署」で利活用を推進

～SMBCグループ「脱ハンコ」への挑戦～

業務委託契約 秘密保持契約 請求書 検収書 金融業

三井住友銀行 経営企画部 業務改革室 小暮 浩平氏

- 三井住友銀行では業務改革室が主導し、本部での電子契約利活用を推進している。
- 大企業において個別部署による検討では中々導入が進まない現実があり、本部で旗振り役となる部門の存在が必要不可欠。
- 同行本部「56部署」での電子契約利活用を進めたポイントとその効果についてお話を伺った。



## 1,000通以上の雇用契約や誓約書を電子化

～銀行のイメージを変えるきっかけに～

雇用契約 誓約書 金融業

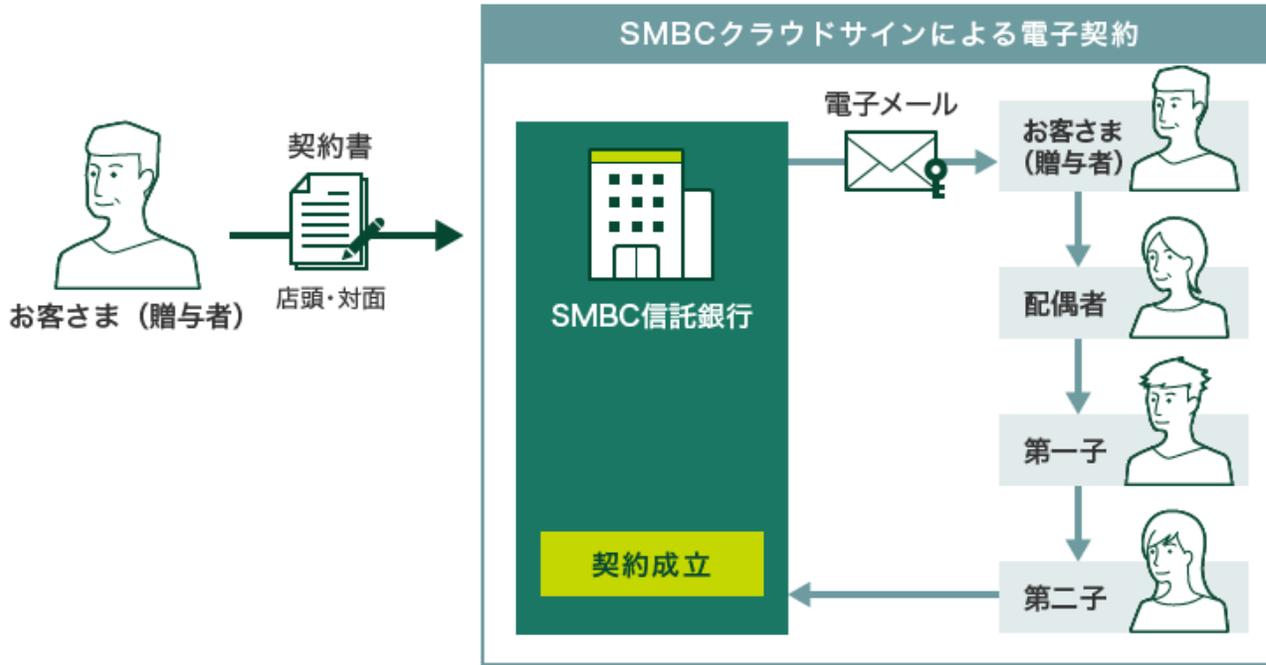
三井住友銀行 人事部 採用グループ 尾崎 三奈氏

- 三井住友銀行では人事部にて新卒・中途の雇用契約、学生インターンでの情報管理の誓約書など、様々な人事関連書類の電子化が成され効果を上げている。
- 業務効率化のみならず人材採用業務において、世に先駆け電子契約を取入れる事で、銀行のデジタル化における先進的な取り組みのアピールにも寄与しているとの事だ。

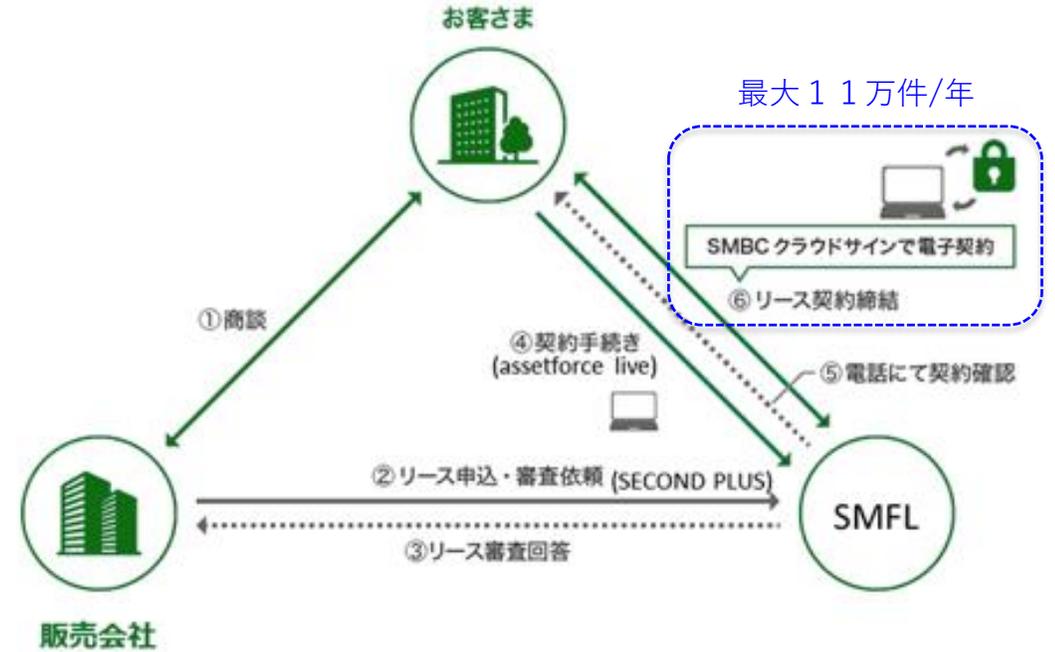
三井住友銀行  
(業務委託契約、NDA、雇用契約など)



# SMBCグループでの事例



SMBC信託銀行  
(スマート相続)



三井住友ファイナンス&リース  
(リース契約)



# クラウド型電子契約の浸透度合い（推定）

導入

10%～

実利用

1%～

※社数ベース



# 今日のアジェンダ

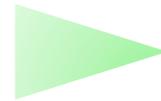
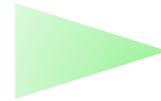
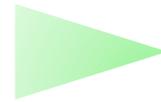
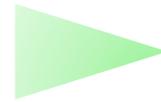
1. 自己紹介
2. クラウド型電子契約の基本
3. クラウド型電子契約の利活用状況
4. 課題と今後の展望



## 課題と今後の展望

### 課題

1. 取引先の理解
2. 業務プロセスの最適化
3. 電子契約の使い方
4. 法改正



### 解決のポイント

ネットワーク効果

導入サポートの拡充

運用事例・判例

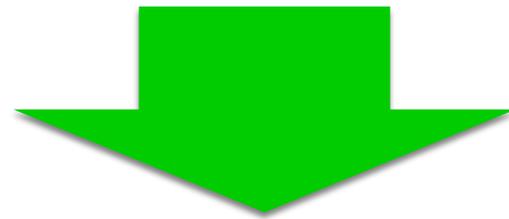
国の更なる後押し

**加速度的にクラウド型電子契約が普及する見通し**



電子契約の先には

## 契約書管理機能の強化



契約書データの利活用へ





# SMBCクラウドサイン

”紙より速くてセキュアな契約がビジネスを変える“

メガバンクが利用する信頼の電子契約サービス「SMBCクラウドサイン」

